

第 14 回早稲田大学校友会ゴルフ大会報告

11月8日(水)、秋晴れの下、飯能の久邇カントリークラブを借り切った第14回早稲田大学校友会ゴルフ大会が開催されました。関東地区を中心とした地域稲門会、職域稲門会、海外稲門会、年次稲門会、高麗大校友会、校友会事務局などから48団体、192名が午前9:00の時報を合図に全27ホール(東・西・北コースの各9ホール)からショットガン方式で一斉にスタートしました。



(スタート前の集合写真)

普段はまずプレイすることのないショットガン方式は、例えば西コース8番ホールからスタートした場合、9番ホールが終わったら、次に東コースを1番から9番まで順番にプレイしてから、西コースに戻り1番から7番まで回ってホールアウトとなります。メリットは全組がほぼ同時進行するため、ホールアウト後の表彰式などが余り待たずに始められる点にあります。一斉スタートのため、朝の練習場、ホールアウト後の入浴、精算などが非常に混雑するという不便さもあります。

当会は原田一彦、杉原直樹、濱野雅章、大久保健仁の4名でエントリーし、新ペリア方式による個人戦では原田選手の12位を筆頭に全員が二桁順位と健闘し、団体戦では48団体中9位入賞しました(10位までが入賞)。



プレイの組合せは各稲門会と交流を図る目的で、他の稲門会のメンバーとの組み合わせでしたが、表彰式・パーティは各団体毎に集まり、それぞれ一日の感想などを語り合い、入賞者は賞品を受け取り、最後は全員で「都の西北」を合唱してお開きとなりました。

大久保健仁 (S48・商)